



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第284号

2016年9月12日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

入学準備のお金が6月支給では間に合わない

八千代市内の小・中学校の保護者から「入学のためにランドセルや算数セット、体操服を買おうと3万円を超える。しかも入学準備金が6月まで支給されないので家計が大変」と不安の声が寄せられています。

入学準備金は、経済的な理由で市立小中学校への就学が困難な子どもが、安心して教育を受けられるように、給食費や学用品費などを援助する就学援助制度の援助品目の1つです。小学校入学時に2万470円、中学校入学時に2万3550円が6月中に支給されます。

就学援助制度は、憲法第26条「教育を受ける権利、教育の義務」や学校教育法第19条の「就学困難な児童・生徒への市町村の援助義務」にもとづく国の制度です。制度を利用している児童・生徒の比率は、全国で15%、八千代市で約10%です。

実際の費用より低く過ぎる入学準備金

堀口明子議員は、9月議会の一般質問で入学時の費用の実態を示しました。小学校入学時に必要なランドセルの平均価格は4万円（ランドセル工業会調査）。市内の小学生の体操服は半そで短パン1式で5千円前後します。中学校入学時にかかる費用は、制服、カバン、体操着、上履きなどで、4万5千円～7万4千円です。

入学準備金と実際の費用に大きな差があることを指摘し改善を求めました。加賀谷教育長は「ランドセル、カバン、制服などが高騰していることは認識している。近隣市の動向を踏まえながら検討したい」と答弁しました。

全国に広がる入学準備金の前倒し支給

さらに堀口議員は「最も入学準備金が必要となる3月に前倒しして支給できないか」と質問しました。加賀谷教育長は「収入状況確認が困難であり、入学確定しない時期の支給は難しい」と答弁しました。

しかし、前倒し支給には、国も他の自治体も前向きに取り組んでいます。文部科学省小松初等中等教育局長は「これ（入学準備金）が必要な時期に必要な支給が行われるということが望ましい。市町村に働きかけを行っている」と述べています（2016年5月24日参院文教科学委員会）。地方自治体で入学準備金を2～3月に前倒しして支給しているのは、福岡市、新潟市、八王子市、知立市、宗像市などで年々増えています。

日本共産党は、義務教育は無償という憲法、学校教育法の趣旨にふさわしい就学援助制度にするために、今後も改善・見直しを追求していきます。

